

# 伊藤康英公開講座

## よくわかって、楽しいソルフェージュ

～「バイエルピアノ教則本」New Edition (音楽之友社)を使って～

### 〈講座内容〉

- ・ソルフェージュは「バイエル」でも始められる
- ・聴音・視唱だけがソルフェージュではない！
- ・ソルフェージュは応用すれば吹奏楽などの指導もできる
- ・音部記号読み(クレ読み)に挑戦！
- ・移調奏を覚えて調性感を身につけよう
- ・ほんとうのリズムの話～欧米と日本のリズム感
- ・作曲家が語る音楽の魅力



伊藤康英(いとう やすひで)

交響詩「ぐるりよざ」などの作品で世界的に知られる。ピアニスト、指揮者としても活躍。連弾曲集「ぐるぐるピアノ」シリーズ(全6冊)は、「ピアノの新しい楽しさを教える楽譜」として話題沸騰中。「バイエル・ピアノ教則本 New Edition」の編集、発表会用ピアノ曲集「キックオフ!」、ピアノ連弾曲集「わ・おん・ばれーど」、25年以上に及ぶソルフェージュ教育の経験を生かした「メトード・ソルフェージュ」(共著)、そのほか高校の音楽の教科書の執筆などを行う(いずれも音楽之友社刊)。また、震災後の福島を描いた和合亮一の詩による「貝殻のうた」は、歌手・加藤登紀子によってもカバーされている。東京芸術大学作曲科及び同大学院修了の後、同大学非常勤講師を務める。静岡県音楽コンクールピアノ部門優勝、日本音楽コンクール作曲部門入賞。現在、洗足学園音楽大学教授。ウェブサイトは[www.itomusic.com](http://www.itomusic.com)。

また、「YAS110」のチャンネル名にてYouTube上でも自作品のいくつかを紹介している。

「ソルフェージュ」は、単に聴音や視唱をするだけのものではありません。「楽譜の読み方」から「音楽を理解する」ところまで、じつに広い範囲のものを含んでいます。日本でよく使われているピアノ教本「バイエル」はじつは、ソルフェージュの教材としても高い利用価値をもっています。当日は「バイエルピアノ教則本」New Editionを教材に、移調練習、音部記号読み練習など、ソルフェージュの観点からその利用法を解説し、音楽的な学習への手がかりを提案します。

作曲家の視点で音楽を見れば、音楽教育や演奏表現にも大きなヒントが見つかることでしょう。当日は、簡単な作曲の方法もお話します

●日時

●テキスト

標準版ピアノ楽譜「バイエルピアノ教則本」New Edition  
「メトード・ソルフェージュ」(以上、音楽之友社)

※当日、会場で販売いたします

●会場

●お問い合わせ・お申込み先

●受講料(税込)

●使用機材

ピアノ、ホワイトボード

キリトリ線

伊藤康英公開講座

行 FAX.

申込日 月 日

年月日( )

よくわかって、  
楽しいソルフェージュ

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種別	会員	・	一般

※〇印をおつけください。ご記入頂いたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。